

## 活動30周年・法人10周年を祝う

目黒区健康福祉部  
部長 田淵 一裕



もえぎの会の皆様、こんにちは。皆様には、日ごろから目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

もえぎの会におかれましては、今年、活動30周年、法人10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。これは、ひとえに沼野後援会長をはじめとする後援会がしっかりとサポートされてきたこと、そして、関係者の皆様の日ごろの活動の熱意と努力が実を結び、もえぎの会の活動が支持され、親しまれるようになってきたことにほかならないものと確信しております。

障害者自立支援法による事業の移行という大きな課題を乗り越え、「しいの実社」におかれましても、生活介護と就労継続支援B型の事業に移行し、知的障害者の通所施設として順調に運営されており、利用者の方も多く受け入れて頂き、着実な事業を行って頂いております。また、昨年5月には、複合施設であるスマイルプラザ中央町に新たな事業所を開設して頂き、順調に事業が運営されていると聞いております。

さらに、グループホームの整備として、目黒本町6丁目に2箇所目のグループホームとして、「沙羅(しゃら)の家 向原」が完成し、本年4月に開所されました。グループホームの整備にもご協力を頂き、大変感謝をいたしております。

区といたしましては、今後とも、障害者福祉のサービス向上のため、皆様と十分に情報や意見の交換を行いながら、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

区行政の大切なパートナーとして、社会福祉法人もえぎの会のますますのご活躍を期待しております。

### しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月26日(土)に開催いたします。恒例の後援会のバザーも企画しておりますので、献品に、ご協力をお願いいたします。

11月18日(金)までに、ご連絡をお願いいたします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本・日本人形の類

(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153 竹田)

おかげさまでしいの実祭は10回目を迎え、これまで沢山の方々へ支えられたことへの感謝の気持ちを感じて頂けるようなお祭の企画を進めています。来た方が笑顔になれる…そんな心温まるお祭を目指します。



施設のスペースは限られており、お隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さんに加え、今年は新たに五十嵐電機製作所さんのスペースをお借りする事になり、ますますお祭を盛り上げていきたいと思っております。

## 活動30周年、法人10周年記念式典

2011年7月23日(土)に目黒区役所大会議室におきまして、活動30周年、法人10周年記念式典ならびに後援会総会を行いました。今年、法人が認可を受けて10年経過し、活動を開始してから30年経過したことから、記念事業として式典を開催しました。例年よりも多くの方に参加して頂き、大会議室の定員200名に近い196名(参加者174名 協力者 22名)になりました。

後援会総会に引き続き開催された記念式典は、理事長の挨拶から始まり、来賓の祝辞、無認可作業所時代の活動も含めた30年の歴史の歩みの紹介、表彰、懇親会と行いました。

記念式典という事で法人設立に尽力して頂いた19名の方の表彰を行いました。長年にわたり活動し、法人設立時に出資して頂いた16名の家族の方、設立に協力し、設立時から今日まで理事をして頂いている牧野雅子理事、和田清理事。最後に、30年の歩みで障害者・家族への教育やアドバイスをして頂いた高橋晃氏です。高橋氏には、代表して、当時のエピソードや今後の思いなどをお話して頂きました。

懇親会での料理は、もえぎの会後援会にも入会して頂き、お店にはしいの実社の製品をご厚意で陳列、販売して頂いている乃木坂「神谷」様にお忙しい中全面協力して頂きました。前菜からお寿司など日本料理の「神谷」様と、「神谷」様の仲間のシェフへのお声掛けで中華、洋食の料理も並び、記念式典に花を添えて頂きました。この式典には、しいの実社の利用者も参加し、普段とは違うおしゃれな格好をしたり、昔からの知り合いに会って成長を見せられたりなど、とてもよい時間を過ごせました。

これから、20年・30年ともえぎの会は進んでいきますが、安心して地域で生活できる支援を提供する法人を目指して歩んでいきます。



青木区長祝辞



神谷さん(左)とお仲間



おしゃれして楽しんでいきます



社員全員集合

## 秋のイベント販売スケジュール

10月22日(土)	地域福祉のつどい	中目黒GT
10月23日(日)	中目黒公園祭	中目黒公園
10月29日(土)	えのき祭	大橋えのき園
11月6日(日)	目黒区消費生活展	区民センター
12月4日(日)	障害者の日	パーシモンホール

### しいの実社宿泊研修旅行

9月8日(木)・9日(金)に宿泊研修旅行に行ってきました。行き先は伊豆・伊東方面で、今回はしいの実社の設立10周年を記念し、全員一緒に楽しむことを一番の目的に実施を致しました。

直前には台風12号の接近・上陸などあり、少々不安もありましたが、当日は天候にも恵まれ、無事に2日間の楽しい時間を過ごすことが出来ました。スタッフにとっても、拠点が増えてなかなか接する機会の無くなった社員とも楽しい時間を過ごす事が出来る貴重な2日間になりました。また、4名のボランティアの方に参加して頂き、宿泊研修旅行の運営に多大なご協力をいただきました。

今回の宿泊研修旅行の実施に際しては、例年の通り後援会から資金援助をしていただきましたおかげで、このような素晴らしい時間を過ごす事が出来、どうもありがとうございました。



大好きなカラオケ

素晴らしい  
天気  
で最高



熱海城で町娘



全員集合!!

### 学芸大学ショップ便り

鈴木 美那

開店から2年半が過ぎ、しいの実社の製品を愛用してくださるお客様も、少しずつ増えています。現在、働いている社員は3名で、洗い物が得意な方、接客が得意な方、店頭販売を得意とする方、様々な個性や得意分野を伸ばせるように努めています。お客様からも温かく見守っていただいています。

8月16日にはテレビ東京のアルクロードという番組で紹介され、ゲストはテレビ東京アナウンサーの紺野あさ美さんと植田萌子さんでした。撮影現場はたくさんのテレビスタッフが来て、恥ずかしながら私も出演させていただき、ゲストとお話をしましたが、しいの実社製品が初めて全国放送のテレビで紹介され、とても貴重な体験をさせていただきました。

また、東口商店街の孺恋キャベツ祭に参加しました。群馬県孺恋村のキャベツを都会の消費者に知ってもらおう企画で、学芸大学の商店街と協賛したものです。しいの実社ではキャベツのキッシュを販売し、とてもおいしいと好評をいただきました。

テレビ出演・商店街のイベントへの参加を通して、これからもしいの実社の製品が地域の方々と共にありますように、地域密着を目指して努めていきます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



社員による接客や清掃

## 後援会

## 会員インタビュー

# サ 木



### 株式会社 東工電機製作所

住所：横浜市港北区綱島東5-6-9

ホームページ：<http://www.toukou.ne.jp>

東急東横線日吉駅から車で5分ほどの綱島街道沿いの準工業地帯に株式会社東工電機製作所があります。近年はマンションなど住宅も増えてきましたが、物作りの音が聞こえてきます。こちらでは、金属を加工して精密部品を製造し、組み立てや塗装メッキ処理をされています。例えば、携帯電話の電波の周波数を測定する測定器の一部部品をメーカーに卸していますと、不案内な私たちに3代目の大久保剛(たけし)社長が丁寧に説明してくださいました。

今は綱島が本社ですが、昭和25年に目黒区中央町でお祖父様が創業されました。そして昭和37年に綱島に移転され、平成7年に株式会社になり現在に至っています。

従業員の10名の皆さんは、工作機械のノウハウや素材の状況を知り尽くされた経験のあるベテランの方たちばかり。社内には大きな機械がところ狭しと並んでいます。「手で動かしていた昔と違い、今はプログラムを組んでボタン操作ですが、部品によっては肉眼で測れず顕微鏡を使つての細かな作業です」と話される社長もご家庭では子育て真っ最中のイクメンパパ。ご趣味のサッカーも時間と相談しながらとおっしゃいます。もえぎの会とのご縁は、沼野後援会長の紹介で生まれました。以前、しいの実社をたずねてくださったそうですが、お休みの日だったため残念でした。次回はぜひ、お越しくさいますようお待ち申し上げます。



大久保剛社長



測定器の部品



会社の外観



### マッターホーン

住所：目黒区鷹番3-5-1

ホームページ：<http://matterhorn-tokyo.com>

学芸大学駅から徒歩2分のところに、もうすぐ創業60年を迎えようとする「マッターホーン」があります。生菓子、焼き菓子、アイスクリームからチョコレートなどたくさん種類のお菓子を製造販売しているらっしゃる老舗の洋菓子店です。「自然に親の背中を見て育って来ました」とおっしゃる三代目の金子亮一社長に、お仕事の合間にお話をうかがいました。その間も次から次へとお客様が途切れません。お店の裏手の工場から、出来たてのお菓子がショーケースに並びます。誇らしげにずらりと整列したお菓子たちが「今日は私がおお客様の素敵なひと時にご一緒します。お先に！」と胸を張って飛び出してゆくようです。その包装紙や箱に描かれているのは洋画家の鈴木信太郎氏によるもの。お店の奥の喫茶室には作品も飾られており、ティータイムを静かに演出しています。

昭和27年に創業されてから、地域密着型のお店でありたいと支店はもとより、百貨店などにも出さず「当店はこの一軒」主義を通されるマッターホーン。

長い歩みの中で、定番商品であっても味や甘さ加減をその時代に合わせ常に新しいものを取り入れ、創意工夫されているという金子社長のお話に、マッターホーンが愛される理由のひとつがわかりました。貴重なお時間をいただきありがとうございました。



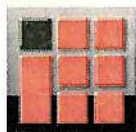
金子亮一社長



人気のパームクーヘン



おなじみの包装紙



## 株式会社 伊庭工務店

住所：目黒区洗足2-24-11

ホームページ：<http://www.iba-web.com>

もえぎの会のグループホーム「沙羅の家 向原」を施工して下さった伊庭さんは城南地区から川崎、横浜地域で幅広く家づくりを手がけていらっしゃる工務店です。昭和42年に先代が伊庭建築士事務所としてスタート。その後、お客様からの依頼もあり、施工も手がけるようになりました。昭和51年に株式会社伊庭工務店となり、今年35年を迎えます。2代目の伊庭秀幸社長は、平均年齢37歳という13名の従業員の皆さんとともに、住宅建築、リフォーム、都市機構の建物管理など事業を拡大されています。

「家を建てることは多くの方が一生に一度の一品物を作られることなので、喜んでいただける希望に添う家を作るためには、まずそのご家族の深いところまでお話を伺い、生活のスタイルなどをお聞きして進めます。」と会話重視の伊庭社長は、「沙羅の家 向原」の施工の時も、しいの実社においでになり、社員のみんなの様子をご覧になったり、お話をされたりしていました。現在、取り組んでいらっしゃるのが犬と一緒に住む「愛犬家住宅」。においの問題や滑らないフローリング、犬の特性も勉強中の社長は好きな釣りのお時間もままならないようです。また、HPIにはショールームで開催されるライフプランセミナーのお知らせ、社長のブログやスタッフの一言日記など伊庭工務店の情報満載です。一度ご覧ください。



伊庭秀幸社長



福島にも住宅を建てました。  
書家 うどよし氏を応援。



施工された住宅

### 新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

沙羅の家 5周年

世話人 長谷茂雄

8月で沙羅の家(南一丁目)は5周年を迎えました。多くの関係者や地域の方々のご協力、ご支援をいただき、順調に運営することができましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

振り返ってみるとあっという間に駆け抜けた感じです。利用者の皆さんも初めは戸惑いや不安を感じていたと思いますが、現在安定して暮らせることに改めて適応力や順応性の高さに驚かされます。

また、今年の4月には目黒本町6丁目に「沙羅の家 向原」が開設し、もえぎの会のグループホームはさらに発展しようとしています。次の5年も利用者の皆さんと笑顔で迎えられるように、今後ともスタッフ一同協力して運営していきたいと思ひます。 歓迎 大蔵さん入居

外食風景



向原にも沙羅の花  
が咲きました



例大祭@南一丁目&向原西

9月17日に南一丁目町会、18日に向原西町会の例大祭に参加してきました。今年は例年にも増して残暑が厳しく、参加した利用者さん達は汗だくになりながら頑張って御神輿を担ぎました。町会の人からも声をかけて頂けるようになり、少しずつですが地域に馴染んできたことを実感できました。

暑さに負けずワッショイ、ワッショイ!



南一丁目  
でワッ  
ショイ!!



地域の方とパチリ

向原西のお祭メン  
バーです



編集後記

猛暑から急に秋がやってきました。皆様体調を崩されたりしていませんか?しいの実社ではこれからの実祭をはじめイベントの多い季節となります。皆さまぜひ遊びにいらしてください。(竹田)

発行:社会福祉法人もえぎの会

住所:目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)電話: 03-5724-7153

e-mail : shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

